

市議会

News From Iseaki
City Assembly Report

平成30年
4月1日
No.66

いせさき

- 第1回定例会が開かれました
- 平成30年度伊勢崎市一般会計予算など
49議案が可決されました

上武大橋

第1回定例会

2月20日～3月16日

定例会の概要……………	2	常任委員会審査……………	12
主な議案の概要……………	2	特別委員会調査……………	13
一般質問……………	3	議案等の審議結果……………	14
予算特別委員会審査……………	10	各種お知らせ……………	16

第1回定例会の概要

今定例会の市長提出議案は、平成30年度一般会計予算及び各特別会計等予算13件、条例関係22件、平成29年度補正予算10件、人事案件1件、その他3件の合わせて49件です。（審議結果は、14ページから掲載）

■2月20日

本会議が開かれ、会期を3月16日までの25日間と決め、会議録署名議員の指名を行いました。

次に、平成29年度伊勢崎市一般会計補正予算（第5号）など10件の補正予算を議題とし、討論が行われた後、採決の結果、原案のとおり可決しました。続いて、伊勢崎市個人情報保護条例の一部を改正する条例案など37議案について、市長から提案理由の説明がありました。

■2月22日

本会議が開かれ、平成30年度伊勢崎市一般会計予算について、質疑が行われた後、議長を除く議員全員で構成する予算特別委員会を設置し、審査を付託しました。

次に、伊勢崎市個人情報保護条例の一部を改正する条例案など36議案について、質疑が行われた後、所管の各常任委員会に審査を付託しました。

住生活基本計画について

質問 少子高齢化と人口減少は、高齢化問題、空き家問題、地域コミュニティを支える力の低下といった住宅政策上の諸問題の根本的な原因となっています。そこで、これらの問題に密接に関連する伊勢崎市住生活基本計画は、どのような背景により改定の必要を生じ、これまでの住宅政策に加えて新たにどのような課題に対応するのかお聞きます。また、伊勢崎市住生活基本計画策定検討委員会の構成員、開催状況についてもお伺いします。

次に計画期間、基本理念等の内容、さらに、今後、計画を推進していく上で他団体と関連する体制についてお尋ねします。

答弁 平成28年3月に全国計画が、昨年3月に群馬県住生活基本計画が決定され、若年・子育て世帯及び高齢者の住生活に関する目標、空き家の抑制に関する目標などが新たに設定されました。そのため、本市現行計画も新たな住宅課題に対応し、今後の本市の住宅施策を総合的に推進していくことを目的に改定するものです。また、伊勢崎市住生活基本計画策定検討委員会は、大学教授等専門的知識を有する者、公募による者及び市長が必要と認める者で構成され、昨年に2回開催し、平成

本会議終了後、予算特別委員会が開かれ、委員長及び副委員長の互選を行い、委員長に鈴木良尚委員、副委員長に六本木摩美委員が当選しました。

■2月23・26日

一般質問が行われ、14人の議員が質問し、市長、教育長及び所管の部長から答弁がありました。

■2月28日・3月2日

予算特別委員会が開かれ、付託された平成30年度伊勢崎市一般会計予算について審査が行われました。

■3月6日

総務委員会が開かれ、付託された6議案について審査が行われました。

■3月7日

文教福祉委員会が開かれ、付託された11議案及び請願について審査が行われました。

■3月8日

経済市民委員会が開かれ、付託された9議案及び請願について審査が行われました。

■3月9日

建設水道委員会が開かれ、付託された10議案について審査が行われました。

■3月16日

本会議が開かれ、予算特別委員長及び各常任委員長から付託された議案について報告があり、討論が行われた後、採決の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

次に、伊勢崎市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例案1議案について審議し、原案のとおり可決されました。



伊勢崎クラブ 齊 藤 優

29年度末に1回開催予定です。

次に計画期間は、平成30年度から平成39年度までの10年間とし、全国計画群馬県住生活基本計画及び第2次伊勢崎市総合計画が掲げる目標及び将来都市像の実現並びに誰もが住みたくなる住み続けられる住宅及び住環境の整備を進めていくために、基本理念を誰もが安心して暮らせる住まいとまちづくりと位置づけ、3つの基本目標を掲げています。目標では、子育て世帯や高齢者などさまざまな世代が地域で安心して住み続けていけるような支援及び住まいづくりを進めるとともに、住宅の確保に配慮を要する世帯に対しても居住の安定確保を図っていきます。また、住宅の耐震化やリフォームなどの普及及び促進に努め、空き家対策も総合的に推進していきます。さらに、地域の特性に応じた都市基盤整備及び良質な住宅地の供給を進めていきます。

本計画の今後の推進については、設定された数値目標が達成できるよう、本市、市民の皆様、国、県等の関係機関がそれぞれの役割を果たし、市民の皆様の住生活の安定の確保及び向上の促進を図っていきます。

その他の質問

●総合防災マップについて

した。

続いて、教育委員会委員任命の同意について1議案を審議し、同意されました。

主な議案の概要

伊勢崎市個人情報保護条例の一部を改正する条例案

個人情報保護の定義を明確化し、あわせて附則において伊勢崎市情報公開条例の一部を改正するものです。

伊勢崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例案

国民健康保険税基礎課税額の資産割を廃止し、一定の激変緩和を講じた上で、基礎課税額等を改定するものです。伊勢崎市後期高齢者医療に関する条例及び伊勢崎市福祉医療費支給に関する条例の一部を改正する条例案

国民健康保険の住所地特例を引き継ぎ後期高齢者医療の被保険者とする規定を加え、これを福祉医療費の支給対象者に加えるものです。

伊勢崎市土砂等の埋立て等の規制に関する条例案

土砂等の埋め立て等の適正化を図り、もって生活環境の保全及び市民の安全を確保しようとするに伴い制定の必要を認め、埋め立て等の面積が1000平方メートル以上3000平方メートル未満の土砂等の埋め立て等を小規模特定事業と定め、埋め立て等を行う際に許可を必要とし、許可を受けず

除雪対策について

質問 最近の気候の変動は、目をみはるものがあります。本市でも平成26年2月14日から15日にかけて降り積もった大雪では多くのビニールハウスや車のガレージなどが雪の重みで倒壊して、多くの家屋にも多大な被害が出ました。国道50号線も2日間にわたり通行止めになり、日の当たらない生活道路などは幾日も自転車での通行が困難になるなど、日常生活に大きな支障が出ました。当時の教訓を捉え、現在はどうのような対策がなされているのかお聞きます。

次に、生活道路の除雪対応についてですが、全市的に除雪に対応できる重機を持っている建設業や管工業の皆様が少なくなっていると思います。

そこで、佐波伊勢崎農業協同組合と話し合いをして、農家の皆様が所有している除雪できる農業機械を登録し、協定を結び、生活道路の早い復旧に協力していただくお考えがあるかお聞きます。

答弁 現在本市では、平成27年度に群馬県道路除雪会議で策定された大雪時における群馬県道路除雪行動計画により国道、県道及び市道を含めた主要道路の除雪の優先順位が明確化され、本計画に基づき伊勢崎土木建築業協同

に事業を行った場合や命令に反した場合等の罰則を規定するものです。

伊勢崎市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例案

ごみ集積所からの資源物の持ち去りを規制することに伴い、改正の必要を認めたものです。

伊勢崎市小口資金融資促進条例の一部を改正する条例案

群馬県の融資制度に準じ、資金の用途を明文化し、及び資金の借換えの延長を行うものです。

伊勢崎市都市公園条例の一部を改正する条例案

政令が定める基準を参酌した上で、都市公園の敷地面積に対する運動施設の敷地面積の割合を定めるものです。

伊勢崎市民病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案

緩和ケア病棟における特別病室の使用料の額の見直しを図ることに伴い、改正の必要を認めたものです。

伊勢崎市介護保険条例の一部を改正する条例案

介護保険料の見直しに伴い、平成30年度から平成32年度までの保険料の基準所得金額及び保険料率を改定するとともに、事業者の指定に関する基準を削るものです。

伊勢崎市指定居宅介護支援等の事業に係る基準等を定める条例案

居宅介護支援事業の指定権限が市に移譲されることから、国で定める基準に従い、標準とし、及び参酌した上で、基準等を定めるものです。



伊勢崎クラブ 鈴木 良 尚

組合と道路除雪業務委託を締結し、除雪を行っています。また、学校周辺の通学路は、伊勢崎管工設備協同組合と災害発生時における応急対策業務に関する協定を締結し、除雪を行っています。

次に、生活道路の除雪対応については、市民の皆様の御協力により対応しています。農業機械の除雪機材としての有効性は、平成26年2月の豪雪の際に認識しており、生活道路の迅速かつ効率的な除雪につながると考えています。

また、道路除雪における佐波伊勢崎農業協同組合との協力体制については、今後検討していきます。

その他の質問

●あかばり運動公園駐車場について

●指定管理者制度について



大雪時の除雪対策を

華蔵寺公園遊園地について



伊勢崎クラブ
新 藤 靖

質問 華蔵寺公園遊園地は、入場料がなく遊べる遊園地として大変有名ですが、より多くの方に足を運んでいただき、たくさんのお客さんを出をつくらせていただくためには季節のイベントや売店のメニュー充実が重要だと考えます。

そこで、利用者数、利用料金収入、イベントの開催状況及び売店のメニュー充実についてお聞かせください。また、行って良かった、行ってみたいと思っていたら遊園地にすることが集客数増加につながると考えますが、集客数増加への取り組みについてお聞かせください。

答弁 利用者数については、平成27年度が186万5482人、28年度が182万6336人、29年度が1月まで157万7918人です。

利用料金収入は、平成27年度が2億2398万4522円、28年度が2億1904万6796円、29年度が1月まで1億9772万491円です。

イベントについては、真夏に雪を降らせるイベントやハロウィンイベントなど、季節ごとに実施しています。

売店については、行政財産の目的外使用の許可をした業者が営業を行い、メニューは園内での持ち運びや食べやすさを重視した軽食が主体となっています。



華蔵寺公園遊園地

その他の質問
●災害時における視覚・聴覚障害者への対応について

●地域包括ケアシステムにおける協働について

移住促進について



伊勢崎クラブ
長 沼 宏 泰

質問 平成29年の人口移動報告では、東京一極集中の実態が鮮明になっています。一方、本市では働ける人の不足が深刻な問題となっています。対策は色々考えられますが、一人でも多くの人が移り住んでもらうことも必要と考えます。いきなりの移住はハードルが高いですから、本市に訪れていただき、伊勢崎の暮らしを体験してもらったことが必要と考えます。そこで、空き家を利用した民泊施設の整備に補助制度をつくるお考えはあるでしょうか。

次に、総務省の調査結果では、田園回帰の潮流が明らかになっています。本市は豊かな自然環境や低利用農地もたくさん存在しており、その潮流に乗った移住の受け入れは可能と考えますが、移住希望者の多様な要望に応えるには商工会やJA、不動産業者等々の協力が不可欠と考えます。市はどのように対応していくのかお聞かせください。

答弁 空き家を利用した移住促進を目的とする民泊施設の整備については、空家等対策や住宅政策等の見地から補助事業等の必要性について調査研究を行っていきたいと考えています。

次に、田園回帰の潮流に対する対応ですが、移住促進に係る取り組みとして、平成27年度から県及び県内全市町



豊かな自然環境がある伊勢崎市

村で構成されるぐんま暮らし推進連絡会議に参加し、ぐんま暮らしポータルサイトへの移住情報の掲載やぐんま暮らし相談会等に参加し、情報を提供する機会を設けました。また、総務省の全国移住ナビや市ホームページにおいても地方移住希望者に向けた積極的な情報発信を行っています。

今後も県と連携した移住促進に取り組むとともに、本年3月1日に開設予定の空き家情報バンクの活用等を含め、本市の実情に合った効果的な施策等の研究を進め、一人でも多くの方に本市の魅力や住み良さを伝え、移住先を選んでいただけるように努めていきたいと考えています。

その他の質問
●地元生産物の販売・展示施設の整備について

波志江スマートIC周辺道路の整備について



政経クラブ
森 田 修

質問 波志江スマートIC周辺道路の整備については、以前から本市の議員6人と前橋市の議員4人で研究を続け、県道苗ヶ島飯土井線の波志江スマートICまでの延伸を希望してきました。そして、本市の市長及び前橋市長にも陳情をしてきました。そうした事も功を奏したのか、はばたけ群馬・県土整備プラン2018-2027の原案で、平成39年度までに着手予定の事業とされました。こうした動きに対しての本市の対応についてお聞きします。

確認をしています。この度、県土整備プランの原案に、県道苗ヶ島飯土井線を延伸し、上武道路から波志江スマートICへのアクセス道路として、平成39年度までに着手予定とする新規路線に位置づけられました。

今後の対応については、県事業である県道苗ヶ島飯土井線の延伸整備の進捗状況を見きわめながら、前橋市との協議を踏まえ、波志江スマートICから前橋市の都市計画道路までを結ぶ都市計画道路3・4・43号波志江1号線の整備について検討していきます。

その他の質問

●島部勤業会社各種直輸之起因井社員之記行の活用について

●通学路見守り活動について

●高齢者タクシー利用料金助成事業について



波志江スマートIC周辺道路の整備を

民間活力の活用について



伊勢崎クラブ
宮 田 芳 典

質問 平成28年12月定例会の一般質問にて、PPP事業について活用の可能性を検討していきたいとの答弁をいただきました。そこで、公共施設等総合管理計画に基づいた今後の展開を具体的に御答弁願います。

また、内閣府の支援を受け、可能性を探りながら官民連携事業を推進していくのがよろしいのではないのでしょうか。本市のお考えをお聞かせください。

次に、民間提案の受け付け体制の整備及び受け入れ基準の作成について、お考えをお聞かせください。

答弁 公共施設等総合管理計画では、民間事業者等との連携による民間活力の活用を視野に入れながら、効率的な施設運営並びに行政サービスの維持及び向上を図ることとしています。PPP事業では、指定管理者制度による公の施設の管理運営、業務の外部委託などを進めています。今後は、施設分類ごとの具体的な対応方針を定める個別施設計画を民間活力の活用の可能性も含めて検討の上、策定していきたいと考えています。

官民連携事業の取り組み例として、防犯灯の省エネルギー改修にかかる全ての経費を光熱費の削減分で賄うESCO事業を導入しています。現在のP



指定管理者制度導入の市民プラザ

その他の質問

●私道の整備補助について

●公園の管理について

次に、民間提案の受け付け体制の整備及び受け入れ基準の作成については、各施設の整備をどのように実施していくかを把握する必要がありますので、今後策定する個別施設計画の内容を踏まえ検討していきます。

猫の戸籍について



伊勢崎クラブ
須 永 聡

質問 猫の戸籍という表現をしています。登録制度のことです。飼い主を明示することは、飼い主の責任と自覚を促し、他の人への迷惑防止に有効であると同時に、飼い主の愛情の証ともいえます。屋内で生活する猫が外に出てしまった場合や災害時等に備える意味からも身元の表示が望まれます。登録制を実施している自治体も出始めであり、本市でも検討する価値があると考えます。そこで、市内の飼養状況の把握について伺います。

次に、猫の場合も登録料をいただいで、不妊・去勢手術や飼い主を識別する方法として使われているマイクロチップの費用助成に充てるなど、行政の工夫により有効な財源にできると考えます。先進地の事例なども参考にしたい本市の登録に対する認識をお聞かせください。

次に、飼い主の方が責任を持って最後まで面倒を見ることが基本中の基本ですが、現実にはそれが守られていないために、多くのトラブルの原因となっています。捨てられる猫を減らすしていくための現実的な解決策を考えたとき、登録を義務づけ、飼育指導をしていくことが少なくとも次善の策になりえると考えますが、本市の条例制定のお考えをお聞かせください。

答弁 飼養状況の把握については、猫には犬のような登録制度がないため猫を飼いでいる飼養状況の把握は行っていない。また、群馬県動物愛護センターに確認したところ、県についても同様の回答でした。

次に、登録に対する認識ですが、登録制度とすることにより、飼い主の責任感及び意識の向上、飼い主のいない猫への無責任な餌やりなどマナー違反の減少を期待できる効果もあるようですが、登録の有無にかかわらず、マナー違反がなくなることが肝要であり、適正飼養や、責任の重要性などの啓発活動を続けていくことが重要であると考えています。

次に、条例の制定の考えについてですが、マナー違反がなくなることが重要であると考え、今後も啓発活動を続けるとともに、条例の制定については他市町村の状況等を調査研究していきたい。

その他の質問

●伊勢崎市をPRするためのラッピングトラックについて

●快適な公民館活動のための環境整備について

●赤堀地区のグラウンドゴルフ場整備について



伊勢崎クラブ
小暮笑鯉子

AI時代を見据えた未来の教育・保育について

質問 AI時代に必要な能力として、非認知能力が、教育界で注目されています。非認知能力とは、誠実さ、忍耐力、社交性などを示す能力で、学力以上に伸ばしておくべき能力とも言われています。ノーベル賞経済学者によると、就学前教育への支出は、雇用、生活保護の受給、逮捕率などにも影響を及ぼし、社会全体に良い影響を与える。研究結果が出ています。幼児期の教育・保育の拡充が、小・中学校の児童・生徒のパフォーマンスを上げるために、費用対効果の高い投資と考えますが、市のお考えを伺います。

次に、幼児小中連携教育について市のお考えをお聞かせください。

ていきたいと考えています。

次に、幼児小中連携教育の考えですが、公立幼稚園では、主体的な遊びを通して非認知能力を重視した学びの芽生えを育成し、さらに、幼稚園と小学校の滑らかな接続を図るために、園独自のアプローチカリキュラムを編成し、卒園前の一定期間に保育実践を行っています。各小学校では、幼稚園等で育成された力を十分発揮できるよう、スタートカリキュラムを編成し、接続を意識した学習活動を展開しています。今後も、幼稚園、保育園、認定こども園等と小学校の情報共有を進め、学びの質の向上を図っていきます。

その他の質問

●私立保育園・認定こども園について

●学校給食費の無償化に対する考えについて



A Iを活用した授業

北部環状線について



伊勢崎クラブ
大 木 光

質問 流通団地西交差点改良事業が平成29年度に完了し、渋滞がかなり解消しました。しかし、車の速度が速くなり歩行者や自転車は危なくなったとの声も聞きます。そういった事情もあり、北部環状線の早期整備への期待が高まっているところですが、平成30年度の事業計画について教えてください。

次に、県では、はばたけ群馬・県土整備プラン2018-2027を平成30年3月に策定予定です。この県土整備プランの原案では、県道桐生伊勢崎線等の道路整備を検討しますから推進しますと変更になり、また、平成39年度までに着手予定の事業として、県道桐生伊勢崎線（都）北部環状線、バイパス整備とあります。まだ原案ですが、北部環状線について県の考え方の一定の方向性が示されたのではないかと思います。この原案を受けての今後の考えをお聞かせください。

現在本市では、主要地方道足利伊勢崎線以南は段階的に整備をしていくとの考えで、それ以北に関しては県との協調事業で行うとのことですが、県としては県道桐生伊勢崎線バイパス整備事業とのことです。主要地方道桐生伊勢崎線以南に関しては市での事業化が必要になってくるのではないかと思います。また、計画の平成39年度より

り少しでも早く着手していただけるよう、市が事業化していくといった姿勢も見せていく必要があるのではないかと思います。市のお考えをお願いします。

答弁 平成30年度の事業計画ですが、平成27年度から着手した流通団地西交差点改良事業が完了したことから、平成30年度以降は、日乃出町地内の主要地方道前橋館林線から主要地方道足利伊勢崎線までの区間における測量設計等の業務委託を予定しています。

次に、県土整備プラン原案を受けての今後の考えですが、北部環状線未整備区間のうち、上諏訪町地内の主要地方道桐生伊勢崎線から鹿島町地内の国道462号線までの区間が、県道桐生伊勢崎線バイパスとして平成39年度までに着手を予定する新規路線に位置づけられたことは、これまでの勉強会及び県知事への要望活動による一定の成果と捉えています。

今後も引き続き、主要地方道桐生伊勢崎線以南も含めた勉強会及び県知事への要望活動を続けていきます。

その他の質問

●障害者支援について

●殖蓮一号公園について

●はちす権現山公園について



伊勢崎クラブ
栗 原 真 耶

通学路の安全対策について

質問 通学路が安全であることは非常に重要なことです。通学路の安全対策について、伊勢崎市通学路安全対策協議会の取り組みをお聞かせください。次に、最近では安全や防犯上などの理由から、車での送迎がともなふえており、学校付近の交通量がふえ、路上駐車も多く通行帯が狭くなっています。送迎車の対応についてお聞かせします。

また、さらなる安心を得るために、防犯灯の有効な設置も重要になってくると感じますが、市のお考えをお聞かせします。

答弁 伊勢崎市通学路安全対策協議会は、PTA代表、小・中学校長代表、伊勢崎市教育委員会、建設部、環境部、伊勢崎警察署、伊勢崎土木事務所及び国土交通省関東地方整備局で構成され、年3回会議を開催しています。協議会では、小・中学校及び幼稚園で危険箇所の情報から作成された通学路改善要望書により、要望事項の検討を関係機関に対して依頼しています。

次に、送迎車の対応ですが、保護者の皆様にに対し、学校へは徒歩での登下校が原則であることを通知やPTA総会等において周知しています。なお、病気等によりやむを得ず送迎が必要な場合は、乗降場所を指定する等、各学校の状況に応じた対応をとっています。



通学路の安全対策を

その他の質問

●自立高齢者日常生活用具給付事業について

また、保護者の皆様に対し、登校時間帯の校門周辺の道路状況を情報提供し、御理解と御協力をお願いしています。防犯灯事業は、夜間における犯罪の防止及び通行の安全確保を図るとともに、市民の安心で安全な暮らしに寄与することを目的としています。新規設置については、地域の通学路等の状況を把握している学校関係者、防犯団体及び住民の皆様との御意見を参考に、区長から提出される設置要望報告書に基づいて現地調査を行い、設置基準に照らして設置しています。今後も、各行政区からの御要望に沿って防犯灯の設置を行い、夜間における犯罪の防止及び通行の安全確保を図っていきます。

花火大会について



政経クラブ
羽鳥基宏

質問 初秋に行われるいせさき花火大会を待ち望む市民や近隣の人々は多く、私も心待ちにしている一人です。10年ほど前に、観客がけがをしてしまう事故がありました。その後2力年いせさき花火大会が中止になり、残念な思いをしたことが記憶に残っています。その後いせさき花火大会は再開され、定着化していますが、花火打ち揚げ業者の選定はどのように行われているのでしょうか。また、地域振興のために、地元事業者についてのお考えをお聞かせください。

答弁 平成23年にいせさき花火大会を再開するに当たり、花火打ち揚げ業者については、県内外で打ち揚げ実績のある3社を提案事業者とし、いせさき花火大会実行委員会において企画提案型の選定を行いました。なお、選定に当たっては安全性を最優先とし、その他に企画性、実績などを評価基準としています。現在の花火打ち揚げ業者は、企画提案型の選定において3年連続で選定をされたこと、創業以来事故がないこと、花火の打ち揚げ準備を当日に短時間で実施することにより安全性を高めるとともに順延時にも柔軟に対応可能であること、さらに、全国競技大会においても入賞経験があること



いせさき花火大会

などの優れた実績を勘案し、関係機関と協議を行い慎重な検討を経て実行委員会が決定をしています。いせさき花火大会を再開をして多年経過していますので、選定方法については、さらにまた検討していきます。できれば、これは公共工事全般であります。地元最優先という原則は変わりません。

いせさき花火大会は、音楽と共に楽しむ花火として定着をきており、今後も安全面を最優先に考慮し、花火と音楽との共演を多くの皆様に安心して楽しんでいただける花火大会として実施をしていきます。

その他の質問

- 伊勢崎市の介護支援について
- 上野国佐位郡正倉跡について
- 北部環境線について

学校給食費の助成について



日本共産党議員団
北島元雄

質問 アベノミクスで景気が良くなっていると言われ、景気回復の期間は戦後2番目の長さだそうです。しかし、私たち日本共産党議員団が昨年行った市民アンケートでは、半数近くの人以前より暮らしが大変になったと答えています。アベノミクスで格差と貧困がますます広がっているのが実態ではないでしょうか。とりわけ非正規という働かせ方が若い世代に貧困を作り、今や7人に1人の子供が貧困世帯と言われる状況になっています。

こうした中、義務教育は無償という憲法の精神と子育て支援のため、学校給食費を無料にする自治体が県内で増加しています。県内各自治体の学校給食費無償化等の現状についてお聞きます。

次に、平成30年度予算要望として、私たち日本共産党議員団だけでなく、市議会の各会派が市長に学校給食費の無料化について要請したことが、議会報告やインターネットで紹介されていますが、どのように受け止めているのか御所見をお聞きます。

次に、平成30年度からの完全無料化実施にはいろいろな課題があると思いますが、多子世帯を無料化した場合、本市ではどの程度の費用が必要になるのでしょうか、試算をお聞きます。

また、学校給食費の無料化や助成への今後の考えについてお聞きます。

答弁 県内他市町村で学校給食費を無料や全額助成をしているのは、渋川市、みどり市、上野村、神流町、南牧村、嬬恋村、草津町及び板倉町。また、一部を助成しているのは、前橋市、桐生市、太田市、富岡市、安中市、榛東村、吉岡町、下仁田町、高山村、片品村、玉村町、明和町及び大泉町で、助成の対象は、第2子以降または第3子以降や全ての児童・生徒に一定額を助成しているものなどがあります。市議会の会派要望については、貴重な御提言であると受け止めており、今後も県内の動向に注視していきます。試算については、第2子以降を無料とした場合は約2億6300万円、第3子以降を無料とした場合は約3300万円が必要となります。

今後の考えについては、学校給食法第11条に学校給食に要する材料費は保護者負担と定められており、今後もこの考えを堅持していきたいと考えています。

その他の質問

- 生活保護世帯の移動について
- 就学援助費入学前支給について

認知症サポーターのいるお店について



公明党
阿久津尚子

質問 認知症サポーターのいるお店に、いち早く取り組んでいる床屋さんによると、くわまるの表示板を見た人から、認知症の家族を連れてきていかという相談が寄せられたそうです。この事業を立ち上げた経緯、対象となるお店及びお店の登録方法についてお聞きます。また、実施状況及び今後の取り組みについても伺います。

件です。業種は、金融機関、理容店、美容室、警備会社及び菓子小売店で、現在、新聞販売店からも賛同をいただき、手続を進めています。また、登録された事業所では、それぞれの特徴を生かし、地域の見守りに対してさまざまな活動をしていただいています。

今後の取り組みですが、市の広報紙による周知を初め、業種ごとの組合や協会等への働きかけなどにより、認知症サポーター養成講座の受講及びお店の登録を奨励し、高齢者が利用する幅広い業種に対して登録事業所の拡大を図り、地域の見守りの強化を図っていきます。

答弁

事業の経緯は、地域包括支援センターで受ける相談の中で、認知症の方や御家族の精神的負担と、社会から孤立してしまう状況を把握したことにより、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる地域づくりを推進するために、本事業を開始しました。対象となるお店は、高齢者が日常的に利用する金融機関、郵便局、薬局、理容店、美容室、警備会社、小売店舗などの幅広い業種です。登録方法は、認知症サポーター養成講座を受講した従業員が全従業員約1割以上いる市内の事業所が登録対象で、申請後、審査の上登録を決定しています。また、登録決定通知と合わせて表示板を交付し、市のホームページ等で公表しています。

実施状況については、昨年11月から実施し、本年1月末現在の登録件数は96



認知症サポーターのいるお店の表示板

その他の質問

- 教職員の適正配置について
- 各種検定料助成事業の導入について
- 図書館について

公有財産の有効活用について



会場の
正論
伊藤純

質問 神戸市では、歳計現金等や基金を、定期性預金による預金運用と、国債、地方債などによる債券で運用しており、債権運用については、基金所管局が各基金の資金需要に応じて債権を購入しています。民間企業における経営理念や手法を分析するなどして、行政部門の効率化、活性化を図っているとのこと。そこで、民間手法を取り入れた自治体経営について、本市のお考えをお聞かせください。

次に、本市では、定期預金をメインで運用しているようですが、基金で利回りを出すができれば、予想収益が見込まれると専門家も運用を奨励し、基金の規模によつては、0・1%向上で数千万の単位で変わるとも言われています。そこで、本市の基金の現在高及び運用実績について伺います。また、神戸市では、有利な運用が期待でき、元本が保証される仕組債を導入しています。本市も安全性を担保に債権運用も手掛けてみてはどうかと考えますが、市長の御所見を伺います。

答弁

民間手法を取り入れた自治体経営の考えですが、現在の資金運用は、大口定期預金や譲渡性預金により行い、債券での運用は行っていない。今後さらに財源を確保するため、各基金の

取り崩し時期等の把握に努め、複数の基金をまとめて運用する方法や債券運用等について、民間の考え方も取り入れながら、さらなる有効な手段を多角的に研究していきたいと考えています。次に、1月末現在の基金の現在高については、152億6479万4626円で、平成28年度の基金運用収益については、1613万4649円です。基金の預け入れ先については、借入れを行っている複数の金融機関に利率を提出していただき、最も運用収益の高い金融機関を選定しています。なお、さらに利回りが良く、より有利な債券による運用については、財政状況及び安全性を考慮した上で研究課題として他市等の事例を調査していきます。

その他の質問

- 市営墓地整備について



債券運用の考えは

予算特別委員会審査

2月22日の本会議で予算特別委員会に付託された平成30年度伊勢崎市一般会計予算について、同委員会における審査経過及び結果概要は次のとおりです。

歳入

市税

個人市民税の現年課税分特別徴収の積算根拠について

給与収入伸び率0・5%と社会保険料控除の伸び率等のデータを反映させた新数値により納税者ごとに再計算し、収納率を年金特徴100%、特別徴収99・8%でそれぞれ見積もり、対前年度比4・2%増の83億3302万2000円を見込んだものです。

配当割交付金

減額理由について

緩和的な金融環境、経済成長期待の高まり、オリンピックに向けた関連投資の本格化及び3%の賃上げ要請等により企業コストの増加が見込まれることから、交付金の原資となる民間企業の配当金の減少を想定し、あわせて過大な見積もりに配慮し、対前年度比20%減の8000万円を見込んだものです。

株式等譲渡所得割交付金

減額理由について

平成28年度の実績及び地方財

政計画上の都道府県税株式等譲渡所得割の増額等を勘案し、対前年度比23・1%減の1億円を見込んだものです。

国庫支出金

社会資本整備総合交付金における土木課、道路維持課及び建築課分の増額理由について

土木課分は、交付金対象路線が1路線増加し、5路線となることによるもので、対前年度比7689万円増額の1億6461万5000円を、道路維持課分は、競運橋の下部工及び上部工補修工事並びに橋梁点検業務委託の交付金対象事業費の増額によるもので、対前年度比5126万円増額の1億8062万円を、建築課分は、茂呂住宅建設事業において、工事費に対する交付金が増額となることによるもので、対前年度比5029万3000円増額の1億4164万2000円をそれぞれ見込んだものです。

学校施設環境改善交付金の対象となる施設について

赤堀小学校における校庭拡張に伴う屋外環境整備事業及び第一中学校におけるバリアフリー対策に伴うエレベーターの整備事業をそれぞれ予定しています。

認定こども園施設整備交付金の対象事業について

私立茂呂こども園の大規模修繕事業で、屋上防水層の改修を予定しています。

県支出金

学校・家庭・地域連携協力推

消防費

非常備消防施設整備事業における工事請負費の内容について

第2方面隊第7分団及び第15分団のトイレ水洗化工事、外壁の修繕及び屋上防水工事を予定しています。

教育費

電算システム改修委託料の内容について

校務支援システムにおける学校保健関連システムの運用のため健康診断データを一括管理し、健康診断票の出力及びデータの集計等が行えるように変更するものです。

赤堀小学校整備事業における工事請負費の内容について

主に拡張したグラウンドの造成・舗装工事及び側溝の敷設を行うもので、平成31年度の供用開始を予定しています。

その他の主な質疑

大規模盛土造成地変動予測調査業務委託料の内容について

審査の結果

討論においては、長谷田公子委員から反対、馬庭充裕委員、田村幸一委員及び新藤靖委員から賛成の、それぞれ意思表明が行われ、引き続き採決の結果、議案第26号、平成30年度伊勢崎市一般会計予算は、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

歳出

総務費

車両管理事業における備品購入の内容及び目的について

軽乗用車2台、軽貨物車2台、小型乗用車2台及び40人乗り中型バス1台を買いかえるもので、老朽化した車両は故障箇所が多く、修繕費等がかさむことから、庁用自動車の定期的な買いかえにより、円滑な業務運営を図るためです。

公共交通現況調査業務委託料の内容について

コミュニティバス再編に向けて、現状の課題に対する調査、研究及び市民アンケートなどを行い、路線再編の参考とするものです。

コミュニティバス運行経費を委託料から補助金へ変更した経緯について

平成30年度から貸し切りバスを乗り合いバスへ移行することに伴い、運行主体がバス運行事業者となり、運

進事業費補助金の積算根拠及び使途について

国、県及び市がそれぞれ事業費の3分の1を負担するもので、小学校4校において実施している放課後子ども教室を2校ふやし、6校における総事業費の3分の2に当たる負担として、383万9000円を見込み、教材消耗品及び開設準備品等に充てるものです。



コミュニティバスあおぞら

民生費

障害児福祉事業における扶助費の算出根拠について

主に放課後等デイサービス事業及び児童発達支援事業における給付額の増によるもので、放課後等デイサービス事業は、延べ3534件で、対前年度比約8200万円の増額、児童発達支援事業は、延べ690件で、対前年度比250万円の増額をそれぞれ見込んだものです。

衛生費

休日・夜間急患センター運営費補助金の増額理由について

伊勢崎佐波医師会病院で実施している休日、夜間の小児科の一次診療に要する医師の人員費を補助するもので、県内他市と比較して低い状況であり、小児科医療体制維持の必要性から1時間当たりの単価を1万6600円に引き上げ、対前年度比934万9000円の増額を見込んだものです。

空家等調査業務委託料の業務

平成30年度 各会計当初予算

(単位：千円 %)

区 分		30年度	29年度	増減率	
一般会計		74,500,000	72,000,000	3.5	
特別会計	小型自動車競走事業費	15,710,283	15,352,556	2.3	
	学校給食センター事業費	4,115,815	3,175,029	29.6	
	国民健康保険	19,582,523	25,311,693	△ 22.6	
	後期高齢者医療	2,206,141	2,007,899	9.9	
	介護保険	16,212,748	16,276,575	△ 0.4	
	下水道事業費	3,540,674	3,720,663	△ 4.8	
	農業集落排水事業費	610,963	585,449	4.4	
	特定地域生活排水処理事業費	29,664	23,187	27.9	
企業会計	水道事業	6,300,171	5,923,008	6.4	
	病院事業	17,218,390	17,245,656	△ 0.2	
	介護老人保健施設事業	275,414	286,130	△ 3.7	
	訪問看護事業	収益の支出	62,600	64,900	△ 3.5
		資本の支出	—	1,200	—

※水道事業、病院事業及び介護老人保健施設事業の予算額は、収益的支出額と資本的支出額の合計額です。

常任委員会審査

2月22日の本会議で委員会付託された議案について、各常任委員会における審査経過及び結果概要は次のとおりです。

総務委員会

伊勢崎市個人情報保護条例の一部を改正する条例案については、審査において、個人識別符号について質疑があり、これに対し、DNAの配列、顔の容貌、虹彩及び声紋等、特定個人の身体の一部の特徴を変換したものと並びに旅券番号、基礎年金番号、運転免許証番号及びマイナンバー等、個人に発行されるカード等に記載されたものであるとの答弁がありました。

次に、伊勢崎市消防事務手数料条例の一部を改正する条例案については、審査において、手数料の値上げによる見込み額について質疑があり、これに対し、本市には該当する大型な施設等がないため、影響はないとの答弁がありました。

次に、平成30年度伊勢崎市小型自動車競走事業費特別会計予算については、審査において、JKA交付金の減額理由について質疑があり、これに対し、10年間猶予されていた分の交付金の支払いが平成29年度で終了したためであるとの答弁があり、また、投票業務等委託料の増額理由について質疑があり、これに対し、インターネット投票、専用場外発

売所及び重勝式勝車投票券における売り上げ等の増加をそれぞれ見込んだためであるとの答弁がありました。

なお、慎重に審査を行った結果、付託された6議案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

文教福祉委員会

伊勢崎市市民病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案については、審査において、改正理由について質疑があり、これに対し、家族との大切な時間を穏やかに過ごすことができる環境を整えた特別病室の利用率を高めるため使用料の見直しを図るものであるとの答弁がありました。

次に、平成30年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計予算については、審査において、地盤改良工事に伴う仕様の変更について質疑があり、これに対し、平成28年度の実施設計において、固化剤の添加量を1立米当たり350キログラムと見込んでいたが、施工業者による試験において、添加量の不足が判明したため1立米当たり500キログラムに変更するものであるとの答弁がありました。

次に、平成30年度伊勢崎市介護保険特別会計予算については、審査において、居場所づくり支援補助金の内容について質疑があり、これに対し、居場所を立ち上げるための初期費用として備品等購入費に上限3万円、運営費用として54施設へ1開催当たり1000円の補助をそれぞれ見込んでいるとの

答弁がありました。

次に、平成30年度伊勢崎市病院事業会計予算については、審査において、多軸透視撮影システムの内容について質疑があり、これに対し、本体であるX線透視装置、附帯するX線画像表示モニターシステム及びデジタル画像処理システムを総称したものであるとの答弁がありました。

次に、平成30年度伊勢崎市訪問看護事業会計予算については、審査において、利用者拡大の方針について質疑があり、これに対し、引き続き、開業医及び各医療施設と連携を図りながら、1人でも多く、訪問看護を行えるようにしていきたいとの答弁がありました。

次に、伊勢崎市介護保険条例の一部を改正する条例案については、審査において、第6段階における合計所得金額の範囲を引き下げる理由について質疑があり、これに対し、平成27年度に国の基準が引き下げられた際、第6期計画において改正した場合、影響を受ける人数が非常に多くなことから据え置いたが、第7期計画の基準額における上昇幅は2・7%と少ないことが見込まれるため、保険料改定にあわせ国の基準の範囲に沿って改めるものであるとの答弁がありました。

次に、伊勢崎市指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案については、審査において、介護医療院の内容について質疑があり、これに対し、平成29年度末で廃止とさ

れていた介護療養型医療施設または介護療養病床の転換先として新設されたもので、要介護者に対し長期療養のための医療と日常生活上の介護を一体的に提供する施設であるとの答弁がありました。

次に、伊勢崎市指定居宅介護支援等の事業に係る基準等を定める条例案については、審査において、市への指定権限移譲に伴う管理、監督の体制について質疑があり、これに対し、地域密着型サービス事業所等の指定を行ってきたノウハウを生かしながら実施していきたいとの答弁がありました。

なお、慎重に審査を行った結果、付託された11議案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

経済市民委員会

伊勢崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例案については、審査において、国民健康保険運営協議会の内容について質疑があり、これに対し、本市では、従前と同様に保険給付、国民健康保険税の賦課徴収及び税率決定等を審議するもので、新たに協議会が設置される県においては、国保運営方針等を担当し、役割分担をすることになるとの答弁がありました。

次に、伊勢崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案については、審査において、改正による影響について質疑があり、これに対し、国民健康保険税に係る資産制の廃止等により、全体で約3・2%引き下げ、約1億5

800万円の負担軽減を図り、1世帯当たり約5407円の減額を見込んでいるもので、そのうち、保険税額が増額となる世帯は約49%で、1世帯当たり約4100円の増額を、減額となる世帯は約46%で、1世帯当たり約1万6000円の減額をそれぞれ見込んでいるとの答弁がありました。

次に、伊勢崎市土砂等の埋立て等の規制に関する条例案については、審査において、汚染された土壌の搬入に対するチェック体制について質疑があり、これに対し、土壌検査の規定に基づき確認したいとの答弁がありました。

次に、伊勢崎市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例案については、審査において、罰則規定の運用について質疑があり、これに対し、定期的なパトロールや通報等により、現況を確認した場合は、行政指導を行い、また、当該指導を受けた者が再度持ち去り行為を行った場合は、行政処分として措置命令を行い、さらに、命令に違反し持ち去り行為を行った場合は、警察へ告発し、罰則を適用することもあり得るとの答弁がありました。

次に、平成30年度伊勢崎市国民健康保険特別会計予算については、審査において、国保情報集約システム委託料の内容について質疑があり、これに対し、国民健康保険の都道府県単位化に伴い、国民健康保険連合会に設置される国保情報集約システムと、市が保有する国民健康保険の資格及び高額療養

費の情報を連携させるため、被保険者数に応じて委託料を負担するものであるとの答弁があり、また、特定健康診査委託料における対象者数について質疑があり、これに対し、特定健康診査については、対象被保険者3万8500人のうち1万7838人を、特定保健指導については、1573人のうち238人をそれぞれ見込んでいるとの答弁がありました。

なお、慎重に審査を行った結果、付託された9議案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

建設水道委員会

伊勢崎市都市公園条例の一部を改正する条例案については、審査において、運動施設率を100分の50とする理由について質疑があり、これに対し、県内他市においても同率とするものであり、本市においても特段の地域的な事情がないことから100分の50と定めようとするものであるとの答弁がありました。

次に、平成30年度伊勢崎市下水道事業費特別会計予算については、審査において、平成30年度末における汚水処理人口普及率の見込みについて質疑があり、これに対し、33・7%から33・8%の推移を見込んでいるとの答弁があり、また、公営企業会計への移行に伴う業務委託の内容について質疑があり、これに対し、固定資産調査及び評価を約9割、地方公営企業法適用化に伴う例規の整備を約5割、庁内関係部

局との連携を約9割、財務会計システムの導入を約7割それぞれ執行する予定であるとの答弁があり、さらに、経営戦略策定業務の内容について質疑があり、これに対し、将来にわたり公営企業を安定的に継続していくため、計画期間を10年以上とした中・長期的な経営の基本計画を策定するものであるとの答弁がありました。

次に、平成30年度伊勢崎市特定地域生活排水処理事業費特別会計予算については、審査において、歳入歳出の増額理由について質疑があり、これに対し、特定地域生活排水処理事業債、浄化槽設置世帯の増加に伴う使用料及び維持管理費の増額によるものであるとの答弁がありました。

次に、市道路線の変更については、審査において、(東)2・308号線の変更理由について質疑があり、これに対し、境界等の確認を行い、所有者とも協議した結果、延長約98メートルの部分を私道とし、認定から外すものであるとの答弁がありました。

なお、慎重に審査を行った結果、付託された10議案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

特別委員会調査

3月16日に地域経済振興対策特別委員会が開かれ、ブランド化農畜産物における実績及び今後の展開について調査を行いました。

平成29年度 各会計補正予算

		(単位：千円)		
区 分		補正前の予算額	補正額	計
一般会計(第5号)		73,994,531	△ 2,087,997	71,906,534
特 別 会 計	小型自動車競走事業費(第2号)	15,358,335	749,717	16,108,052
	学校給食センター事業費(第2号)	3,197,186	13,943	3,211,129
	国民健康保険(第3号)	25,493,458	△ 1,359,066	24,134,392
	後期高齢者医療(第1号)	2,007,899	123,030	2,130,929
	介護保険(第3号)	16,995,341	△ 7,420	16,987,921
	下水道事業費(第3号)	3,801,257	△ 85,181	3,716,076
計	農業集落排水事業費(第2号)	585,449	△ 19,844	565,605
	特定地域生活排水処理事業費(第1号)	23,187	△ 1,329	21,858

市長提出議案

番 号	件 名	付託先	期 日	結 果
第33号	平成30年度伊勢崎市農業集落排水事業費特別会計予算	建設水道	3.16	可決（全会一致）
第34号	平成30年度伊勢崎市特定地域生活排水処理事業費特別会計予算	建設水道	3.16	可決（全会一致）
第35号	平成30年度伊勢崎市水道事業会計予算	建設水道	3.16	可決（全会一致）
第36号	平成30年度伊勢崎市病院事業会計予算	文教福祉	3.16	可決（全会一致）
第37号	平成30年度伊勢崎市介護老人保健施設事業会計予算	文教福祉	3.16	可決（全会一致）
第38号	平成30年度伊勢崎市訪問看護事業会計予算	文教福祉	3.16	可決（全会一致）
第39号	市道路線の廃止について	建設水道	3.16	可決（全会一致）
第40号	市道路線の認定について	建設水道	3.16	可決（全会一致）
第41号	市道路線の変更について	建設水道	3.16	可決（全会一致）
第42号	伊勢崎市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	総 務	3.16	可決（全会一致）
第43号	伊勢崎市介護保険条例の一部を改正する条例案	文教福祉	3.16	可決（賛成多数）
第44号	伊勢崎市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	文教福祉	3.16	可決（全会一致）
第45号	伊勢崎市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	文教福祉	3.16	可決（全会一致）
第46号	伊勢崎市指定居宅介護支援等の事業に係る基準等を定める条例案	文教福祉	3.16	可決（全会一致）
第47号	伊勢崎市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	文教福祉	3.16	可決（全会一致）
第48号	伊勢崎市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例案	付託なし	3.16	可決（全会一致）
第49号	教育委員会委員任命の同意について 稲庭美智子氏(堀下町)	付託なし	3.16	同意（全会一致）

報 告

番 号	件 名	期 日
第 1 号	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	2.20
第 2 号	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	2.20
第 3 号	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	2.20
第 4 号	和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	2.20
第 5 号	(仮称)新学校給食調理場建築工事請負変更契約締結の専決処分の報告について	2.20

請 願

番 号	件 名	付託先	結 果
第 1 号	若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める請願	経済市民	継続審査
第 4 号	学校給食費の無料化を求める請願	文教福祉	継続審査
第 5 号	学校給食費の無料化を求める請願	文教福祉	継続審査

平成30年第1回定例会提出議案等の審議結果

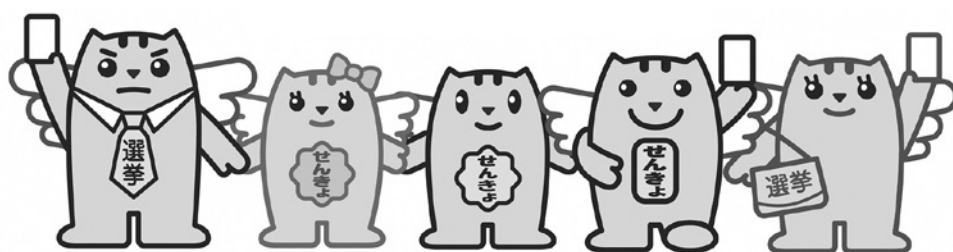
市長提出議案

番 号	件 名	付託先	期 日	結 果
第 1 号	平成29年度伊勢崎市一般会計補正予算(第5号)	付託なし	2.20	可決（全会一致）
第 2 号	平成29年度伊勢崎市小型自動車競走事業費特別会計補正予算(第2号)	付託なし	2.20	可決（全会一致）
第 3 号	平成29年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計補正予算(第2号)	付託なし	2.20	可決（全会一致）
第 4 号	平成29年度伊勢崎市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	付託なし	2.20	可決（賛成多数）
第 5 号	平成29年度伊勢崎市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	付託なし	2.20	可決（全会一致）
第 6 号	平成29年度伊勢崎市介護保険特別会計補正予算(第3号)	付託なし	2.20	可決（全会一致）
第 7 号	平成29年度伊勢崎市下水道事業費特別会計補正予算(第3号)	付託なし	2.20	可決（全会一致）
第 8 号	平成29年度伊勢崎市農業集落排水事業費特別会計補正予算(第2号)	付託なし	2.20	可決（全会一致）
第 9 号	平成29年度伊勢崎市特定地域生活排水処理事業費特別会計補正予算(第1号)	付託なし	2.20	可決（全会一致）
第10号	平成29年度伊勢崎市病院事業会計補正予算(第2号)	付託なし	2.20	可決（全会一致）
第11号	伊勢崎市個人情報保護条例の一部を改正する条例案	総 務	3.16	可決（全会一致）
第12号	伊勢崎市国民健康保険基金条例の一部を改正する条例案	経済市民	3.16	可決（全会一致）
第13号	伊勢崎市市税条例の一部を改正する条例案	総 務	3.16	可決（全会一致）
第14号	伊勢崎市税外諸収入金の督促及び延滞金に関する条例の一部を改正する条例案	総 務	3.16	可決（全会一致）
第15号	伊勢崎市手数料条例の一部を改正する条例案	建設水道	3.16	可決（全会一致）
第16号	伊勢崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	経済市民	3.16	可決（全会一致）
第17号	伊勢崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	経済市民	3.16	可決（賛成多数）
第18号	伊勢崎市後期高齢者医療に関する条例及び伊勢崎市福祉医療費支給に関する条例の一部を改正する条例案	経済市民	3.16	可決（全会一致）
第19号	伊勢崎市土砂等の埋立て等の規制に関する条例案	経済市民	3.16	可決（全会一致）
第20号	伊勢崎市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例案	経済市民	3.16	可決（全会一致）
第21号	伊勢崎市小口資金融資促進条例の一部を改正する条例案	経済市民	3.16	可決（全会一致）
第22号	伊勢崎市特別業務地区内の建築物等の制限に関する条例等の一部を改正する条例案	建設水道	3.16	可決（全会一致）
第23号	伊勢崎市都市公園条例の一部を改正する条例案	建設水道	3.16	可決（全会一致）
第24号	伊勢崎市消防事務手数料条例の一部を改正する条例案	総 務	3.16	可決（全会一致）
第25号	伊勢崎市民病院使用料及び手数料条例の一部を改正する条例案	文教福祉	3.16	可決（全会一致）
第26号	平成30年度伊勢崎市一般会計予算	予算特別	3.16	可決（賛成多数）
第27号	平成30年度伊勢崎市小型自動車競走事業費特別会計予算	総 務	3.16	可決（賛成多数）
第28号	平成30年度伊勢崎市学校給食センター事業費特別会計予算	文教福祉	3.16	可決（賛成多数）
第29号	平成30年度伊勢崎市国民健康保険特別会計予算	経済市民	3.16	可決（賛成多数）
第30号	平成30年度伊勢崎市後期高齢者医療特別会計予算	経済市民	3.16	可決（賛成多数）
第31号	平成30年度伊勢崎市介護保険特別会計予算	文教福祉	3.16	可決（賛成多数）
第32号	平成30年度伊勢崎市下水道事業費特別会計予算	建設水道	3.16	可決（全会一致）

伊勢崎市議会議員選挙

投票日 **4月22日（日）**

投票時間 午前7時～午後7時 **投票所** 投票所入場券に記載



期日前投票 で事前に投票ができます

仕事の都合や旅行などで投票日に投票ができない人は、期日前投票ができます。入場券を持っていずれかの投票所で投票してください。

- 期 間 4月16日(月)～4月21日(土)
- 時 間 午前8時30分～午後8時
※市民サービスセンター宮子、伊勢崎駅前投票所は午前10時～午後8時
- 投票所 市役所東館市民ホール
赤堀・あずま・境の各支所
豊受公民館
市民サービスセンター宮子（いせさきガーデンズ内）
伊勢崎駅前（伊勢崎駅前インフォメーションセンター内）

議会を傍聴しましょう

本会議は議場で、常任委員会（総務委員会、文教福祉委員会、経済市民委員会、建設水道委員会）は委員会室で行われ、開会は、午前10時からの予定です。なお、日程、時間等は変更になることがあります。

また、パソコン、スマートフォン等により、生中継のほか、録画配信で本会議の様子をご覧ください。

●伊勢崎市議会インターネット中継
<http://www.isesaki-city.stream.jfit.co.jp/>

次回定例会日程表（予定）

6月	12日(火)	本会議
	13日(水)	本会議（一般質問）
	14日(木)	本会議（一般質問）
	18日(月)	総務委員会
	19日(火)	文教福祉委員会
	20日(水)	経済市民委員会
	21日(木)	建設水道委員会
	28日(木)	本会議

